

令和4年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試 験 問 題

【科 目】 専門科目〔経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学〕

【時 間】 90分

- 【注 意】
- 1 この問題冊子は，試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 この問題冊子には，経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学の3科目の問題が綴っております。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は，監督者に申し出てください。
 - 3 解答は，3科目の中から2科目を選択して解答してください。
3科目とも解答した場合は，全ての解答を無効とします。
 - 4 解答用紙は，2枚配付します。1科目につき1枚使用してください。各解答用紙の指定箇所に，受験番号を記入し，解答する科目を○で囲んでください。
 - 5 問題の解答は，解答用紙に記入してください。
表面に記入しきれない場合は，右下に「裏面に続く」と明記し，裏面を使用してください。
それでも記入しきれない場合は，追加の解答用紙を配付しますので，手を挙げて申し出てください。（追加の解答用紙の指定箇所にも，受験番号を記入し，解答する科目を○で囲んでください。）
 - 6 下書き用紙は2枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 7 試験終了後，この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

白 紙

令和4年度 新潟大学 経済科学部
第3年次編入学・転部
試験問題

専門科目
経済学 (1/2)

[I] ある国の経済が

有効需要 : $D = C + I + G$

消費関数 : $C = 14 + 0.6(Y - T)$

投資関数 : $I = 105 - 12i$

貨幣需要関数 : $L = 100 + 0.5Y - 10i$

実質貨幣供給量 : $M/P = 200$

政府支出 : $G = 10$

租税 : $T = 15$

財市場の均衡条件 : $Y = C + I + G$

貨幣市場の均衡条件 : $M/P = L$

であたえられているものとする。

なお, Y : 国民所得, i : 利子率 である。

(1) 均衡国民所得と均衡利子率を求めよ。

(2) 政策当局は均衡利子率と均衡国民所得の目標値をそれぞれ, $i = 2, Y = 280$ と定めたものとする。上記のモデル設定において, この利子率と国民所得の組み合わせのもとでは, 財市場と貨幣市場の需給バランスはどのようなになるかそれぞれ答えよ。

(3) 均衡利子率と均衡国民所得の目標値 $i = 2, Y = 280$ を実現させるためには, どのような政策, もしくは政策の組み合わせが必要と考えられるか説明せよ。(数値を出す必要はない)

令和4年度 新潟大学 経済科学部
第3年次編入学・転部
試験問題

専門科目
経済学 (2/2)

[Ⅱ] ある企業の生産関数が $q = 2\sqrt{x}$ と与えられたものとする。 q は企業が生産する財の生産量、 x は企業が使う生産要素の量である。 p は企業が生産する財の価格、 w は生産要素の価格を表すものとする。

- (1) $x=4$ のときの限界生産力（限界生産物、限界生産性）を求めよ。
- (2) 固定費用が5000、 $w=800$ であるときの費用関数を求めよ。
- (3) $p=2400$ 、 $w=800$ のとき利潤を最大にする生産要素の量を求めよ。
- (4) w/p を ω と記すことにする。利潤を最大化する要素需要量と生産量を ω の関数として表せ。また、 ω の増加が利潤を最大化する要素需要量と生産量を減少させることを示せ。
- (5) この小問題では生産関数 $q = 2\sqrt{x}$ を $q = 2t\sqrt{x}$ と一般化しよう ($t > 0$)。 $q = 2t\sqrt{x}$ は $t=1$ のとき $q = 2\sqrt{x}$ となり、 t の増加は $2t\sqrt{x}$ を増加させ、 t は技術水準と解釈できる (t のより大きい値はより高い技術を意味する)。技術水準 t の増加が利潤を最大化する要素需要量と生産量を増加させることを示せ。

令和4年度 新潟大学 経済学部
第3年次編入学・転部
試験問題

専門科目
経営学（企業経営及び会計）
(1/1)

以下のすべての問題について、それぞれ答えなさい。

〔Ⅰ〕

シナジーとは、多角化戦略の策定において重視される概念であり、同一の経営資源を同時多元的に利用することから得られる、コスト削減上またはリスク削減上の相乗的効果のことを指す。シナジーの種類は「スタティック・シナジー（静的なシナジー）」と「ダイナミック・シナジー（動的なシナジー）」に大別されるが、これらのシナジーの違いについて、多角化の種類にも触れながら説明しなさい。

〔Ⅱ〕

国際化戦略の策定にあたって、「どの国に進出するか」という意思決定が重要になる。この意思決定を行う上で考慮すべき要因はいくつかあるが、その中に「カントリーリスク」という要因がある。カントリーリスクとは何か説明しなさい。

〔Ⅲ〕

財務諸表は企業の利害関係者に企業の情報を提供する役割を担っている。企業の代表的な利害関係者である株主はどのように財務諸表を利用するのか説明しなさい。

〔Ⅳ〕

製造企業の広告宣伝にかかるコストは報告式損益計算書のどの部分に表示されるのか説明しなさい。

令和4年度 新潟大学 経済科学部
第3年次編入学・転部
試験問題

専門科目
学際日本学 (1/3)

[I] 以下の事項の中から2つを選択し、それぞれ3行程度で説明しなさい。

- (a) 国学 (b) 自由民権運動 (c) 言文一致体 (d) 55年体制
(e) 男女雇用機会均等法

[II] 次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の関係により、
この部分については
表記できません。

令和4年度 新潟大学 経済科学部
第3年次編入学・転部
試 験 問 題

専門科目
学際日本学 (2/3)

著作権の関係により、
この部分については
表記できません。

令和4年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 学際日本学 (3/3)
著作権の関係により、 この部分については 表記できません。 (隠岐さや香『文系と理系はなぜ分かれたのか』、星海社新書、2018年による。) 設問 下線部(a)に関して、もし問題があるとすればそれはどのようなものと考えられるか。文章の内容を踏まえ、それを発展させて、自分の意見を15～20行程度で述べなさい。	